

大学生と農山漁村との連携事例



帝塚山大学

実施主体名: てづかFarm

担当窓口

帝塚山大学 準クラブ てづかFarm

URL

<https://www.tezukayama-u.ac.jp>



活動内容

私たち、てづかFarmでは大学近くにある畑で野菜を育てています。これまでにJAならけん主催のアグリスchoolのサポート、大学付属小学校・幼稚園との連携活動等を行ってきました。現在は、コロナ禍以前に比べ活動が縮小していますが、育てた野菜を大学食堂に提供したり、学園祭では育てた野菜を使った料理を提供する模擬店を出店しています。

自分たちで育てた野菜をたくさんの人に食べてもらえるため、やりがいを感じることができます。また、部員は食物栄養学科の学生が多く、育てた野菜を調理して品種ごとに食べ比べたり、その調理法を考えたりしています。



きっかけ

てづかFarmは、野菜作りを通して、農業に関する知識を習得し、命を育む農・ごはん食の良さに理解を持った食育の指導者としての育成を目指して2013年に発足したサークルです。2017年度には準クラブに昇格し、子どもたちに食に興味を持ち学んでもらえることを目的として様々な活動を行ってきました。



展望

現在は、コロナ禍の活動制限の影響によりコロナ禍以前に比べると活動内容が縮小しているため、まずは自らが主体的に野菜栽培に取り組み、地域との繋がりや、小学校や幼稚園との連携の再開など、てづかFarmの活動をより一層のものに発展させていきたい。



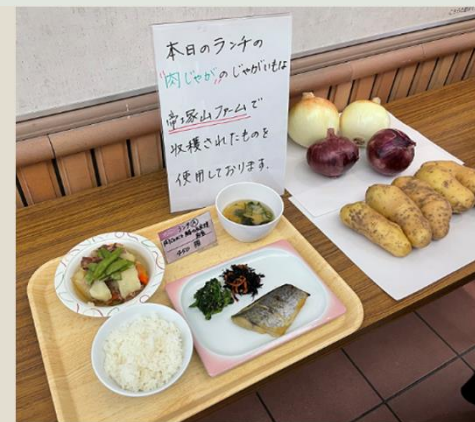
畝づくり



植え付け



収穫した作物



提供野菜を使った食堂のランチ